



大阪部会(第 27 回)

日 時: 2012 年 3 月 3 日(土) 18:00~20:00

場 所: AP梅田大阪4階会議室

【内容要旨】

第 27 回の大阪部会は、第 26 回に引き続き、西梅田の貸会議室にて開かれた。出席者は 10 名。

- (1) まず初めに、経済教育ネットワークの篠原総一代表から、2 月、3 月の東京部会で議論されたことの紹介があった。もっとも大きな話題は、2012 年夏の「先生のための経済教室」の日程および内容に関する議論であった。今年は、例年開かれている名古屋、大阪、東京(中高別)に加えて、初めて広島でも開催されることになった。何人かの新しい講師の先生方にも講義を依頼する予定である。
ついで、入試問題プロジェクトの進展と今後の方針について報告があった。分類された多数の入試問題それぞれについて、高校教員と大学教員とが協力して検討するところが特徴である。なお、新井氏(小石川中等教育)および篠原代表より、今年の入試問題からいくつか問題のあるものが東京部会では紹介された。非常に細かい暗記ものや、予備校間で解答が一致していない困った問題もある。
その他に、宮尾氏(筑波大学)による書評、高橋氏(桜修館中等教育)による効率と公正の検討教材、篠原代表の NHK 高校講座の資料などが配付、説明された。
- (2) その後、三人の先生方から報告があった。まずは河原和之氏(東大阪市立縄手中学校)から、今年度公民で用いた教材「TPP って何？」が配付、説明された。昨年第 22 回の大阪部会で報告された「消費税アップ」と「TPP参加」の是非を問う」という教材の短縮・改訂版と言えるものである。問いかけと調査学習、考察や議論、作業、発表と討論などが組み合わされている。
- (3) 丹松美代志氏(池田市教育政策課)から、教育学部学生を対象に行われたワークショップの資料「東日本大震災」を教材化しよう」が配付された。「社会科教育法」、および「社会科授業論」という科目で実施されたものであり、第 26 回で事前報告があったものの結果報告である。震災を題材に、公民教科書最後の「持続可能な社会をめざして」への接合が図られている。
- (4) 山本雅康氏(奈良学園中学校高等学校)からは、中学校3年生が卒業論文として書いた「マクドナルドの経営戦略」の文章が配付された。身近なマクドナルドの価格付けへの疑問から出発し、自ら調査することの難しさを体験しながら、財務戦略、商品戦略、店舗戦略などへと、話を広げ深めている。出席者の先生方から感嘆の声があがる水準であった。
- (5) 最後に、吉田英文氏(三国ヶ丘高校)から、前回関本氏(守口市立大久保中学校)からの報告でも紹介された「法むる一む(改訂版)」(大阪弁護士会)が配付された。

(文責 野間敏克)

次回開催予定: 2012 年 4 月 28 日(土) 18:00~20:00 場所未定